



令和8年度 市政懇談会

次 第

- 1 開 会
- 2 市政報告
- 3 意見交換
- 4 閉 会

令和8年10月



輪島市

○令和6年能登半島地震や令和6年奥能登豪雨の際の対応を検証し、避難所や備蓄物資をあり方を見直しています

令和6年能登半島地震時

- 避難所として221の施設や民家等を使用
(内訳：指定避難所43か所 自主避難所178か所)
- 孤立により指定避難所まで避難できなかつたり、避難所内が多く避難者で避難所が過密状態に
- トイレをはじめとした衛生環境の悪化による感染症リスクの増大
- 最大で1万3700人を超える避難者に対し、1,800人が1日生活する分の備蓄しかなく物資が不足



現在の取組

- 届出避難所制度**を創設
地域の集会所や神社仏閣、事業所等を避難所として登録・活用することにより指定避難所を補完
 - ★登録要件
 - ・各種災害に対し安全が確保できること
 - ・所有（管理）者の承諾を得られること
 - ・概ね35㎡以上の避難スペースを確保できること
 - ★登録後
 - ・市のホームページに掲載
 - ・初回のみ収容可能人数に対し1日分の物資を供与
1人につき保存食3食、水3ℓ、毛布1枚
1施設につき簡易トイレ約200回分
- トイレカー**の導入（大型1台、軽2台）
- 備蓄計画を策定
市で**約1万2000人の2日間分を備蓄**
非常時には市中流通在庫を買い上げ計3日分を確保

○現在の輪島市総合計画が目標年度を終了するため、令和9年度からの新たな総合計画の策定に取り組んでいます

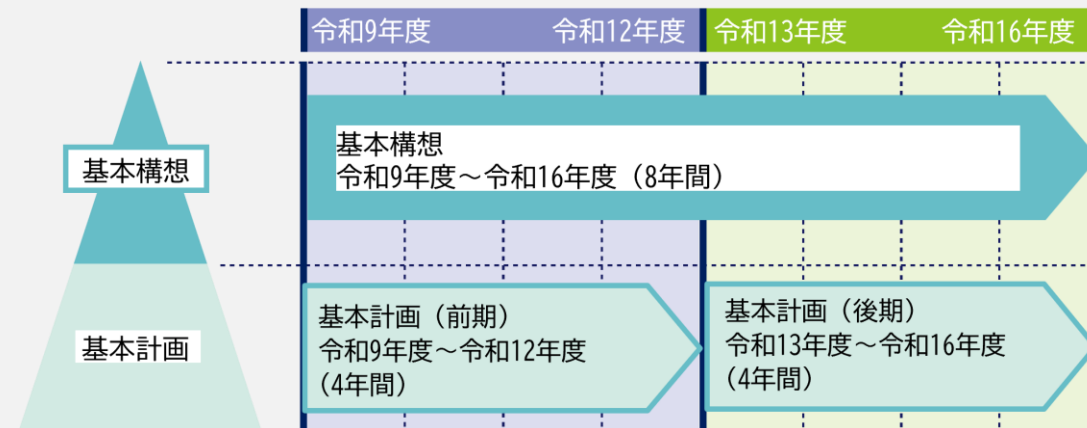
総合計画とは

- 市におけるまちづくりや行政運営の**最上位計画**で、市民や事業者、行政が行動するための**基本的な指針**です。

計画策定の趣旨

- 現在の総合計画の期間は、令和8年度までの10年間です。この間、地震や豪雨により、市民生活や産業基盤に甚大な被害が発生しました。
- 現在、輪島市復興まちづくり計画に基づき、復旧・復興事業を進めているところです。
- 一方で、人口減少や少子高齢化、デジタル化の進展、SDGsへの対応など、本市を取り巻く環境は激しく変化しています。
- こうした状況を踏まえ、**創造的復興の先にある本市の持続可能な発展を見据えた最上位計画**として、**新たな総合計画の策定**に取り組めます。
- 現在の総合計画の施策体系を基本にしつつ、災害からの復興に向けた具体的施策を長期的ビジョンに明確に位置づけ、令和9年度以降の8年間における**「新・輪島」**の姿を描きます。

計画の構成と期間



策定に向けて

- 総合計画審議会での審議や市民アンケート等を行っています。

10月
市民・中高生
アンケート

来年1月
パブリック
コメント

来年3月
新計画の
策定・公表

皆様の声を聞かせてください

進捗状況

※緊急解体・自費解体含む

令和8年8月31日現在

申請棟数		解体完了棟数	残棟数
地震	12,379棟	11,993棟	386棟
豪雨	216棟	204棟	12棟
計	12,595棟	12,197棟	398棟

※解体完了率 96.8%

R8年度解体見込棟数

※舩倉島含む

令和9年度以降に公費解体を行う被災家屋等は、災害の影響により、道路不通及び土砂崩れ等のため解体することが困難な案件が多く、災害復旧工事等が完了した箇所から進める計画

※公費解体の申請受付は令和7年5月30日に終了（長期避難世帯、通行不可能な場所等を除く）

※豪雨の棟数含む

残棟数	令和8年度解体予定数	令和9年度以降
398棟	172棟	226棟

市内高齢者入所施設の状況

- ・ 特 養 ・ ・ あての木園、あかかみ、ゆきわりそう、輪島荘、みやび（福祉の杜内）
- ・ 介護医療院 ・ ・ 輪島病院
- ・ グループホーム ・ ・ ひなたぼっこ、楓の家、福祉の杜、まちのの里
- ・ 養護老人ホーム ・ ・ ふるさと能登
- ・ 有料老人ホーム ・ ・ わじま悠悠、新橋邸

被災者介護施設等入所支援調整事業

- ・ 内 容 ・ ・ ・ 輪島市内の施設に戻るための各種調整（入所施設選定や帰還までのコーディネート）
- ・ 実施者 ・ ・ ・ DMAT調整員
- ・ 利用料 ・ ・ ・ 無料
- ・ 実 績 ・ ・ ・ R7末までに95人帰輪（内、施設へ90人）

高齢者等市外避難者帰還支援事業

- ・ 内 容 ・ ・ ・ 市内施設に戻るための移送費支援
- ・ 助成額 ・ ・ ・ 県内から10万円（県外からは15万円）

保育料・副食費の無償化（震災後から）

- ・ 保育所等における保育料・副食費の無償化

こども誰でも通園制度（令和8年度から）

- ・ 保護者の就労要件に関わらず、保育所等に通っていない未就園児も月一定時間預けることが可能

5歳児健診（令和8年度から）

- ・ 心身の発達や健康状態を確認し、子どもと保護者をサポートし、安心して就学できる環境を整える。

輪島市出産サポート119（令和7年度から）

- ・ 出産予定日等を事前に登録し、緊急時、かかりつけ医の指示の下、救急車等でスムーズに医療機関への搬送が可能に

インフルエンザ予防接種費用無償化（令和6年度から）

- ・ 子ども（1歳～高校3年生相当）と妊婦に助成券を発行し、接種費用を無償化

妊産婦交通費・宿泊費支援（令和6年度から）

- ・ 遠方の産科医等での分娩や妊産婦健診を受けるときの交通費及び宿泊費を支援

こどもの遊び場・居場所づくり、保育所の多機能化、若者の相談機能強化への支援等（令和6年度から）

- ・ NPOと連携し、こどもの遊び場や居場所づくりを実施
- ・ 保育所の多機能化として、民間保育所等の被災後の地域づくりの拠点となる取組み（地域の方との交流、園庭の解放等）を幅広く支援
- ・ わじまティーンラボ等でさまざまな困難を有する若者の居場所の確保、継続した相談支援を実施

営農の再開状況

○地震および豪雨により被災した382haの農地について、県内外の建設業者の協力や農家等が自ら行う災害復旧事業（直営施工）により206haの応急復旧を完了。

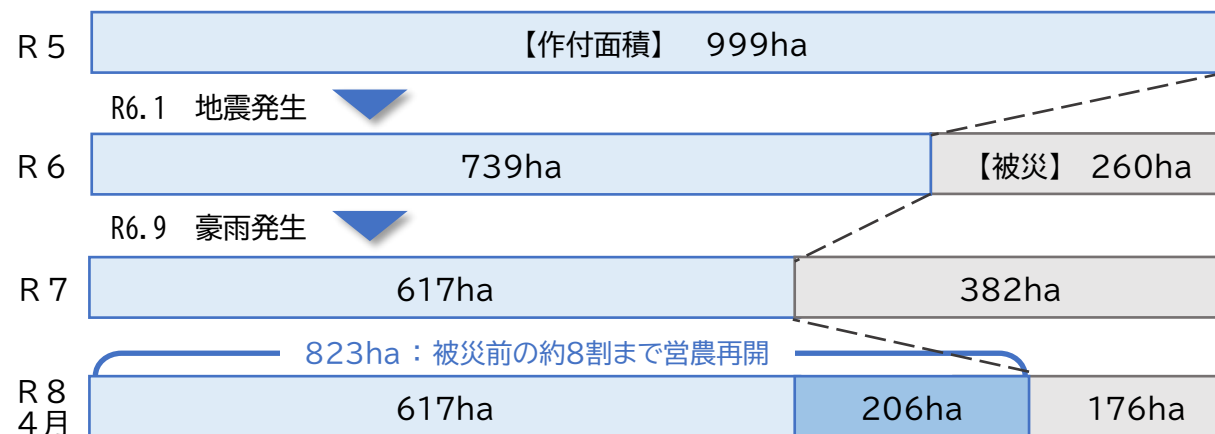


被災後の農地（下黒川町）R6.10



現在の農地（下黒川町）R8.9

【作付面積の推移】



営農再開の促進

農業機械再取得等支援事業

農業用機械や建物などの再取得や 修繕などについて国の交付金に上乗せ補助（補助率 9／10） ※林業・漁業にも同様の制度あり

農地、農業用施設の復旧

災害復旧事業の負担割合を軽減
（農地 3 ⇒ 0%、農業用施設 2 ⇒ 0%）

農地等手づくり復旧支援事業

農地、農業用施設の自力での復旧を支援
（1箇所40万円未満の簡易な修繕）



倒壊した農機具と倉庫

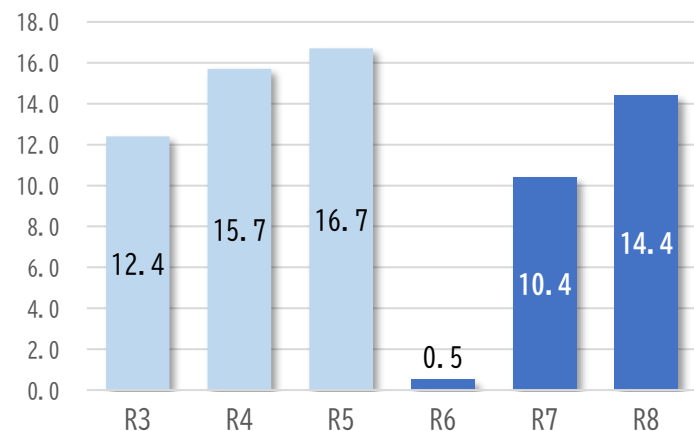
漁業の再開状況

・水揚金額の回復など

○輪島港の浚渫や物揚げ場などの応急復旧などにより、水揚金額は**震災前の水準**まで回復。

○今後は港の本格復旧とともに共同利用施設の機能集約・強化を図り、水産業関係者の生業再建を支援。

(億円) 漁協輪島支所の水揚金額 (1～8月)



漁船等災害復旧支援事業

・漁船、漁具等の復旧

○被害を受けた漁業者への、新船・中古船や漁具等の導入に対する支援

○補助率：9/10
(国10/30、県11/30、市6/30)

○今年度も船・漁具等の復旧を図り、水産業関係者の生業の再建と地域の生産力の回復を支援。

R6～7年度実績

項 目	補助実績 (千円)	
新船建造	3件	1,006
中古船取得	8件	34,676
漁具・漁労設備等	22件	21,297
合 計	33件	56,979

水産業共同利用施設 災害復旧支援事業

・共同利用施設の復旧

○漁協の共同利用施設の復旧に対する支援
○補助率：9/10(国5/10、県2/10、市2/10)

※市・県はそれぞれ**補助率1/10加算**

○今年度は燃油施設の復旧、係船チェーン設置等により、水産業関係者の生業の再建と地域の生産力の回復を支援。補助率の引き上げにより、強力に水産業の復興を支援。

R6～7年度実績

項 目	補助実績 (千円)
鮮度保持施設 (海士町・輪島崎 製氷施設)	14,121
燃油補給施設(海士町・輪島崎)	5,695
岸壁等の軽労化施設 (バルトコンバア)	1,460
蓄養施設(輪島崎 活魚施設)	1,622
荷さばき施設(海士町)	26,314
合 計	49,212

営業再開の状況

○ 発災から2年9ヵ月が経過し、市内事業者の営業再開は、**約85%まで回復**

区分	会員数(R5.4)	会員数(R8.4)	再開数	再開率
輪島商工会議所	1,008者	904者	759者	84.0%
門前町商工会	165者	171者	151者	88.3%
計	1,173者	1,075者	910者	84.7%

※ 輪島商工会議所、門前町商工会調べ

仮設施設の整備状況

○ 本復旧まで相当期間着手できない被災事業者に対し
仮設店舗は**39店舗**、輪島塗仮設工房は**88室**を整備

現在、朝市通り地区で
仮設店舗4棟（14店舗）
を整備中。来年4月以降
にオープン予定。



朝市通りに整備中の仮設店舗イメージ

事業者支援の状況

○ 営業再開のための上乗せ支援に加え、**新たなチャレンジや起業をする支援制度を創設し**、なりわい再建を後押し

復旧・
営業再開
のための
支援
(R5.6～)

なりわい再建支援補助金

- ・被災した施設や設備等の本格復旧を支援
- ・補助率：7/8（国1/2・県1/4・市1/8）
- ・補助上限：国・県15億円、市300万円
- ・市申請数：79件（県申請数：229件）

持続化補助金（災害支援枠）

- ・被災した施設等の応急的な復旧を主に支援
- ・補助率：5/6（国2/3・市1/6）
- ・補助上限：国200万円、市50万円
- ・市申請数：227件（国申請数：422件）

営業再開支援補助金

- ・早期再開のための仮店舗等の施設整備を支援
- ・補助率：5/6（県2/3・市1/6）
- ・補助上限：国300万円、市50万円
- ・市申請数：172件（県申請数：266件）

新たな
取組へ
の支援
(R7～)

チャレンジ支援補助金

- ・新たなチャレンジに必要なソフト事業を支援
- ・補助率：5/6（県2/3・市1/6）
- ・補助上限：県300万円、市50万円
- ・市申請数：16件（県申請数：47件）

復興チャレンジ・新規出店補助金

- ・既存制度を大幅に拡充し、**新規出店等を支援**
- ・補助率：1/2（市）
- ・補助上限：**1000万円**
- ・申請数：9件（他にも複数の相談あり）

◇県の起業促進補助金を併用した場合

- ・補助上限：**1300万円**（市1000万円・県300万円）
- ・県補助率：2/3

輪島塗の創造的復興

○ 官・民・産地が連携し「漆芸の聖地プロジェクト」を推進。輪島を「漆芸の聖地」にするための取組を実施

養成施設の整備等（ハード）

- ・ 輪島漆芸美術館の西側に建設予定
 - ・ ワークショップスペースなど産業観光の機能も付与
- ↓
- ・ 整備に向けた基本設計等に着手済
 - ・ 施設運営やカリキュラム等の検討開始



魅力発信・市場開拓（ソフト）

- ・ 輪島塗について理解を深め、将来の輪島塗の関係人口を増やす取組や輪島塗の市場拡大も必要不可欠
- ↓
- ・ 輪島塗の海外展開を見据えた勉強会の実施
 - ・ 児童生徒を対象とした輪島塗の製作体験会
 - ・ 県立美術館での輪島塗の特別展の開催
 - ・ 美術系大学等の学生を対象とした職場体験会の開催



職人への支援状況

○ 被災した輪島塗職人の事業再開を手厚く支援

伝統的工芸品産業支援補助金

- ・ 輪島塗製造に必要な原材料の購入費等を支援
- ・ 補助率：9／10（国3/4・市1.5/10）
- ・ 補助上限：国1,000万円、市200万円
- ・ 市申請数：258件（国申請数：349件）

輪島塗の海外展開

- 世界への情報発信や商品開発、海外での出展など輪島塗の海外進出を支援（全体予算1.5億円：2年目）
- 大阪・関西万博に展示された輪島塗大型地球儀が漆芸美術館に展示（万博では322万人が来場）
- 災害支援を受けたサッカー日本代表チームに対し輪島塗箸（400膳）を贈呈し輪島塗をPR
JFAの海外関係者への贈呈品に輪島塗箸が採用



ECI 方式（技術協力・施工）

○ 早期復旧・復興を目指し、より効率的かつ効果的な事業推進を図るため、複数工種が混在するエリアを大手建設事業者の技術協力を得て、一括面的整備により事業を進める。

スケジュール

○ 令和8年度より工事に着手し、令和12年度の完了を目指す。

技術協力業者

①輪島西部エリア

清水・日本道路・不動・里谷JV

工種：道路、橋梁、上下水道、農地・農業用施設、公営建築

②輪島東部エリア

鴻池・宮地JV

工種：道路、橋梁、上下水道、農地・農業用施設、公営建築

③門前西部エリア

安藤ハザマ・宮下JV

工種：道路、宅地造成、橋梁、河川、上下水道、農地・農業用施設、公営建築

④門前東部エリア

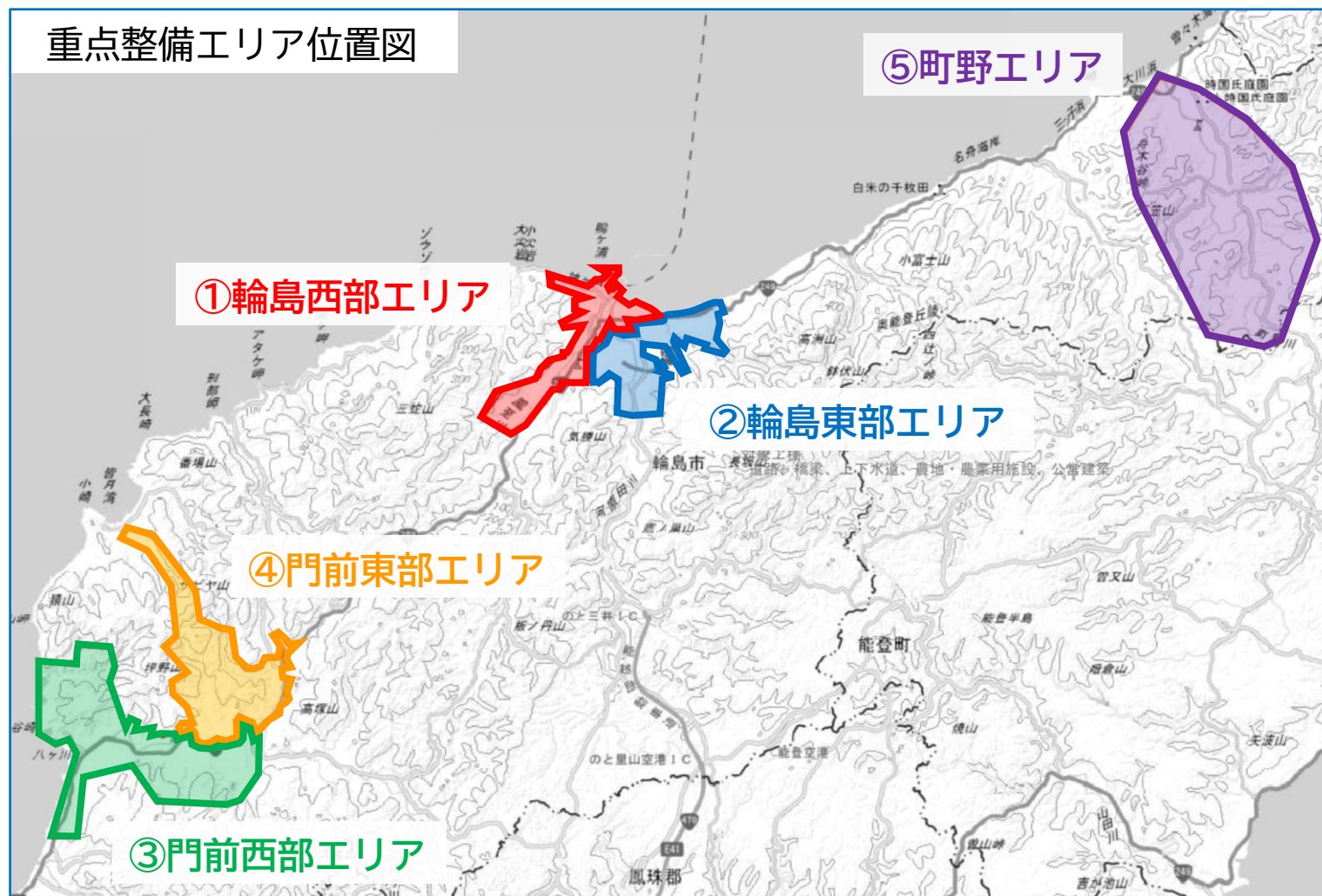
フジタ・鈴木・上田JV

工種：道路、橋梁、河川、上下水道、農地・農業用施設

⑤町野エリア

大林組・東亜建設工業JV

工種：道路、橋梁、河川、上水道、農地・農業用施設



○市内では当初の整備予定戸数975戸に対して1,219戸の申し込みを受け付けています。(現在980戸の整備が確定しています。)
○残る239戸については建設場所や建設戸数について石川県と調整を行っており、決定後、速やかに公表します。

地区別・団地別の状況

	団地(仮称)	整備戸数	タイプ	着工予定	完成予定
1	ファミ跡地	157	鉄筋Co	R8.8済	R10.3
2	鳳至小跡地	91	鉄筋Co	R9.3	R10.3
3	シンザン跡地	101	鉄筋Co	石川県と調整中	
4	本町周辺	54	木造長屋	R9.3	R10.3
5	鳳至第1団地	37	仮設転用	R9.3	R10.2
6	山岸第2跡地	103			
	うち集団移転	34	仮設転用	R9.2	R9.7
	集団移転除く	69	仮設転用	R9.3	R10.3
7	稲屋第1跡地	37	仮設転用	R9.3	R9.9
8	三井第1跡地	27	仮設転用	R9.2	R9.7
中央地区計		607			
9	日野尾	70	木造長屋	R8.10	R10.2
10	浦上	43			
	うち集団移転	7	木造長屋	R8.12	R9.12
	集団移転除く	36	木造長屋	R9.3	R10.3
11	仁岸小跡地	15	木造長屋	R9.3	R10.3
12	七浦第1団地	18	仮設転用	R9.3	R10.3
13	本郷第1団地	20	仮設転用	R9.2	R9.7
14	道下第2団地	36	仮設転用	R9.2	R9.7
15	門前西小跡地		鉄骨	石川県と調整中	
西部地区計		202			
16	JA町野跡地	60	木造長屋	R8.9済	R10.1
17	町野第2団地	66	仮設転用	R9.3	R9.9
18	里第2団地	45	仮設転用	R9.3	R9.9
東部地区計		171			
市内計		980			

鉄筋Coタイプの完成イメージ



木造長屋タイプの完成イメージ



着工・完成時期

※着工・完成時期は現時点の予定であり、設計や各種手続き、社会情勢の変化により前後する可能性があります。

※特に仮設住宅を転用する団地については計画移転が順調に推移した場合の予定であり、計画移転にご協力をいただけないなどの理由により遅れが生じる可能性があります。

仮設転用タイプの完成イメージ



仮設転用タイプの外観は概ね現状のとおりです。

- 奥能登の公立病院は、震災前から高齢化と人口減少で患者が減り、今の体制のまま各市町で病院を維持することが困難
- 再編統合による**集約化**により**病院機能を維持**

奥能登の将来人口推計

2020年	61,114人
2025年	53,318人
2030年	46,882人
2035年	40,881人
2040年	35,273人
2045年	30,184人
2050年	25,739人
2050年には人口が半減	

新病院（のと里山空港周辺で建設）

- ・救急機能を集約し、「**断らない救急を実現**」
- ・診療科：4病院が持つ診療科を概ね継承
- ・入院機能を集約化。病床数：**150～200床程度**
- ・大学病院等と連携し、**総合診療医を養成**
- ・**最先端の予防医療**を提供
- ・**広域連携による高度医療**の確保（能登中部・石川中央）

分娩 | One Hospital 体制

- ・妊婦健診、産後ケアは新病院
- ・**分娩に限って、医療体制が整った七尾市や金沢市の病院**
- ・負担軽減策の検討（例：オンライン健診、事前宿泊制度の充実）
- ・救急搬送体制の充実、ドクターカーや医療DXの活用
- ・**分娩室のハードは整備**

産科医等の確保を国に要望するなど、様々な可能性を探り続ける

奥能登公立4病院の R6純損益（繰入金を除く損益）

（単位：百万円）

輪島病院	▲586(▲920)
珠洲病院	▲245(▲840)
穴水病院	▲128(▲396)
宇出津病院	29(▲585)
4病院計	▲935(▲2,741)

一般会計からの多額の繰入によって維持。
震災で更に悪化

サテライト（市立輪島病院）の役割

- ・一般外来（**総合診療科・内科・整形外科**を想定）
- ・人工透析など地域に必要な機能を維持
- ・総合診療医が巡回し新病院と連携
- ・電子カルテ共通化、医療DXにより情報一元化

新病院のアクセス確保

- ・自家用車以外の移動手段の確保が不可欠
- ・市街地～新病院間の交通手段を検討

開院までのスケジュール：約6～7年程度

基本構想 → 基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 建設 → 開院

運営体制

- ・県と4市町で「一部事務組合」を設立
- ・新病院と地域のサテライトを一体的に運営

○新校舎(6小学校統合:中央地区)及び義務教育学校(小中学校統合:東部地区2校、西部地区3校)の整備により、安全・安心な教育環境を確保します。
○輪島中学校(グラウンド、全天候広場等)及び周辺道路の復旧に長期間を要するため、仮設グラウンドを整備し教育活動の継続を図っています。

児童生徒数の状況

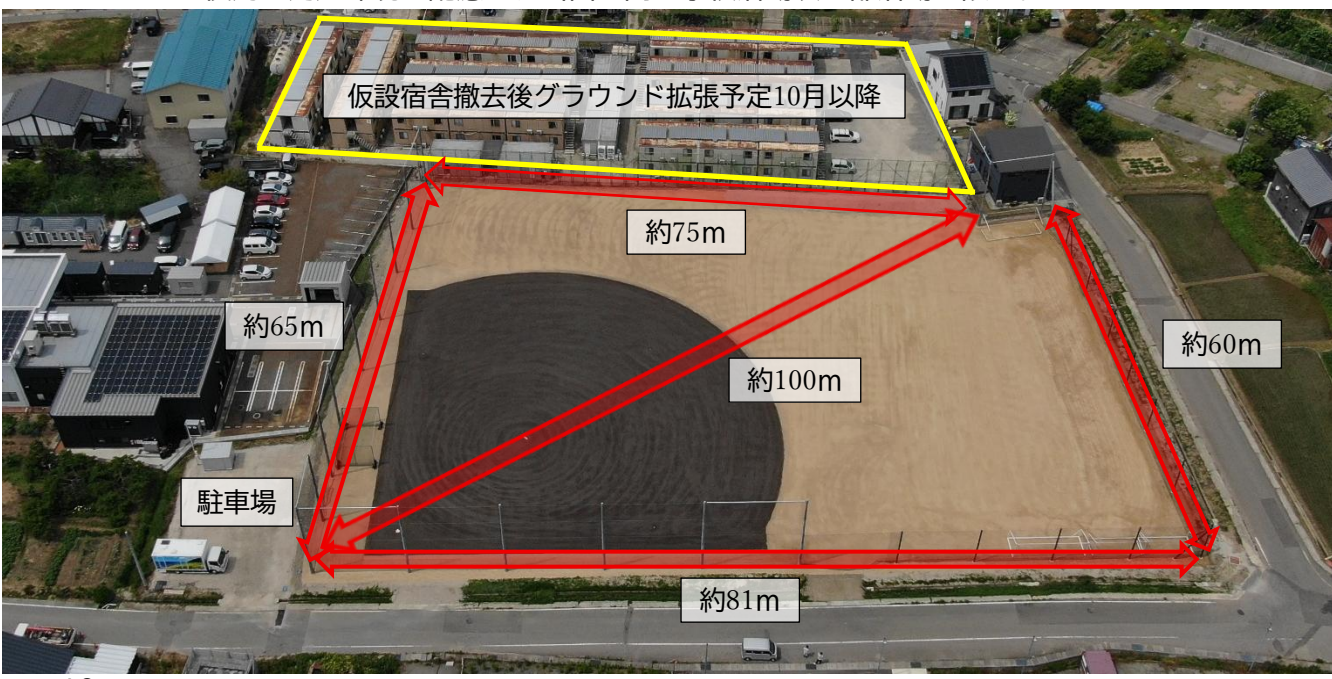
学 校	震災前 (R5.12.1)	※参考 (R7.9.1)	震災後 (R8.9.1)	震災前後差 R5.12~R8.9	比 較 R5.12~R8.9	区域外就学 (R8.9.1)
河井小	308人	190人	376人	▲211人	▲35.9%	32人
鳳至小	161人	115人				
鶴巣小	10人	4人				
大屋小	80人	71人				
河原田小	18人	8人				
三井小	10人	8人				
輪島小	587人	396人	376人	▲211人	▲35.9%	32人
町野小(前期)	44人	21人	15人	▲29人	▲65.9%	2人
東陽中(後期)	19人	8人	10人	▲9人	▲47.4%	3人
東陽小中(義教)	63人	29人	25人	▲38人	▲60.3%	5人
門前東小(前期)	37人	22人	52人	▲16人	▲23.5%	2人
門前西小(前期)	31人	25人				
門前中(後期)	54人	33人	27人	▲27人	▲50.0%	3人
門前学園(義教)	122人	80人	79人	▲43人	▲35.2%	5人
輪島中	328人	241人	233人	▲95人	▲29.0%	30人
合 計	1,100人	746人	713人	▲387人	▲35.2%	72人

※上記は震災直前と令和8年9月1日現在の市内の小中学校及び義務教育学校に通学する児童生徒数の状況である。学年の入れ替わりや少子化の影響があるものの3割以上減少している。
一方、市外へ避難するなど区域外(市外の学校)に就学する児童生徒は72人となっている。(転出者176人)

輪島中仮設グラウンド

輪島中学校及び隣接する市道(駅前大平線など)が甚大な被害を受け、長期にわたる大規模災害復旧工事により、既設グラウンドの使用面積を大幅に縮小せざるを得ないことから、授業や部活動などスポーツに取り組む環境を維持するため、杉平町地内に「仮設グラウンド」を整備し、6月1日より供用開始しました。

- 【施設概要】
- 面 積 5,738㎡ (クレイ表層3,936㎡、内野黒土舗装1,802㎡)
 - 防球ネット 高さ 10m (1塁側約50m、3塁側約65m)、高さ 5m (1塁側約31m、右中間約60m)
 - 駐車場 4台程度
- 【設備等】
- トイレ(トイレカー1台)、散水栓(1箇所:40mm)、水洗柱(3箇所:手洗い・飲料可)、物置(1基)、バットイングゲージ(2期:全高3.1m×幅5.6m×奥行5.0m)、サッカーゴール(大人用1組、少年用1組)
- ※グラウンドの使用は周辺環境に配慮し、当面の間は学校活動及び部活動に限る。



○文教施設の災害復旧について、国等と復旧の方法や事業費を協議の上、地域コミュニティ及びスポーツなど市民の活動場所の早期復旧に取り組んでいます。

公民館等	現 状	復旧予定等
中央公民館	生涯学習文化課内(市庁舎)	当分の間現状維持
輪島公民館	解体中(文化会館)	再整備
大屋公民館	使用可(仮復旧)	令和9年度
河原田公民館	使用可(仮復旧)	令和9年度
鵜巣公民館	使用可(仮復旧)	令和9年度
西保公民館	使用不可	復旧検討中
三井公民館	使用可	復旧済
南志見公民館	使用可	復旧済
町野公民館	使用可(仮復旧)	再整備(複合施設)
港公民館	使用可(仮復旧)	令和9年度
鳳至公民館	使用可(仮復旧)	令和9年度
剣地公民館	使用可	復旧済
阿岸公民館	使用可	復旧済
黒島公民館	使用可	復旧済
諸岡公民館	使用可	復旧中
門前公民館	使用可(仮復旧)	令和9年度
本郷公民館	使用不可(解体)	再整備(令和9年度)
浦上公民館	使用可	復旧済
七浦公民館	使用可(仮復旧)	令和9年度
輪島市文化会館	解体中	再整備
市立図書館	解体中・仮設図書館	再整備
輪島漆芸美術館	使用可(仮復旧)	令和9年度
教育研究所	解体	旧大屋小学校へ移転



文化会館解体中(R8. 9)



本郷公民館



学習センター(文化会館4階)



仮設市立図書館(ワイブラザ別棟)

スポーツ施設	現 状	復旧予定等
サン・アリーナ(体育館)	使用不可(復旧中)	令和11年3月
サン・プルル(温水プール)	使用不可(復旧中)	令和10年3月
総合体育館	使用不可	解体
鳳至体育センター	使用可(仮復旧)	令和9年度
門前健民体育館	使用不可	再整備検討中
マリントウン競技場	使用不可(仮設住宅)	仮設住宅撤去後
武道館(輪島)	使用不可	解体(石川県)
武道館(門前)	使用不可(復旧中)	令和9年3月
輪島野球場	使用不可	解体
門前野球場	使用可	復旧済
町野野球場	使用不可(仮設住宅)	解体
ソフトボール場	使用不可(災害廃棄物再生)	廃棄物処理再生後
町野テニスコート	使用不可(仮設住宅)	解体
門前テニスコート	使用不可	令和9年度
門前多目的体育館	復旧中	令和9年3月
門前簡易グラウンド	使用不可(仮設住宅)	仮設住宅撤去後
三井スキー場	使用不可	解体
グラウンドゴルフ場(町野)	使用不可(仮設住宅)	災害公営住宅
グラウンドゴルフ場(門前)	使用不可(仮設住宅)	仮設住宅撤去後
ゲートボール場(一本松)	使用可	復旧済
ゲートボール場(町野)	使用不可(仮設住宅)	仮設住宅撤去後
ゲートボール場(門前)	使用不可(仮設住宅)	仮設住宅撤去後



サン・アリーナ



総合体育館



輪島野球場



マリントウン競技場